

# みんなの広場

10.13



府招上公民館から田んぼの中の道を通って神社へと向かう『道行き』



人買い商売人に立ち向かい撃退する爽快な演技『朝顔日記』



府招浮立の演目の中で最も人気のある『猿まわし』

## 愛宕権現神社秋祭り『府招の浮立』

### 厳肅な所作と華麗な舞で参観者を魅了

南波多町で『府招の浮立』がありました。これは、毎年10月の第2日曜日に愛宕権現神社の秋祭りで奉納されているもので、県の重要無形民俗文化財に指定されています。色鮮やかな衣装の行列が神社へと向かう『道行き』に続き、境内では33の演目のうち15演目の『本浮立』が披露され、一つ一つ洗練された演出で観客を魅了しました。



ユーモアいっぱい『恵比寿大黒』



華麗な演舞『鈴降り』

## プログラミング体験ワークショップ

### コンピュータに指示を出してみよう

プログラミングを体験するワークショップが二里小学校でありました。小学校でのプログラミング教育必修化を前に、児童にプログラミングの楽しさや可能性を感じてもらおうと、市教育委員会がゲーム開発などを手がける株式会社 Cygames（サイゲームス）などと共同で企画。今月末までに市内の全小学6年生を対象に実施されます。

10.1



↑初心者でも分かりやすい『スクラッチ』というプログラミングソフトを使ってゲーム作りに挑戦

## 交通安全マスコット人形贈呈

### 交通安全の願いを込めて

市老人クラブ連合会女性部の皆さんが、市に交通安全のマスコット人形 400 個を寄贈しました。これは、市民の無事故を願って作られたもので、贈呈は今年で 27 回目となります。「事故がないよう心を込めて作りました」と話す女性部長の井手ロミサヲさん。人形は、秋の交通安全県民運動に合わせた街頭キャンペーンなどで配布されました。

9.18



↑市老人クラブ連合会の皆さんと寄贈された人形

おくんち料理教室

地域の伝統文化を再認識

伊万里公民館でおくんち料理教室がありました。おくんちで客をもてなす機会が減少する中、改めておくんち料理を通して地域の伝統文化を認識してもらうため、NPO法人伊万里のおくんち振興会が毎年実施しているものです。市食生活改善推進協議会の皆さんを講師に、親子など11人が楽しくおくんち料理の作り方を学びました。



大人も子どもも協力しながら6品の料理を作りました



↑昆布巻きを巻く様子(左)。伝統の『にごみ』は、レシピ提携したマックスバリュ伊万里駅前店で販売されました

鍋島藩祭秋まつり『献上の儀』

伊予松山に伝統の磁器を献上

伊万里鍋島焼協同組合による恒例の『献上の儀』が愛媛県松山市役所で行われました。松山城主に見立てた松山市の野志克仁市長に、<sup>かみしろ</sup> 袴姿の畑石真二組合代表理事が『色絵松絵椿文瓶子』<sup>いろえまつえつばきもんへいし</sup>を献上。松山をイメージした松の木と松山市の市花である椿を、色鍋島の技法で描いた作品で、『松』と『椿』はいずれも『鍋島』の伝統的な図柄です。



↑野志市長(左から4人目)に瓶子を献上した伊万里鍋島焼協同組合の代表ら関係者

国際交流イベント

伊万里にいなながら世界を感じた一日

県国際交流協会主催の『さが国際フェスタ月間』のメインイベントが市民図書館でありました。これは、異文化への理解を深めようと実施したもので、各国料理の販売や民族楽器の演奏などがあり多くの来場者でにぎわいました。また、大坪公民館では子どもたちと外国人住民が各国の遊びなどで触れ合う『国際交流ひろば』がありました。



ペルーの民族音楽を演奏するRijchary(リチャリー)

民族衣装の試着体験もありました



↑韓国の伝統的な子どもの遊び『チエギチャギ』をする子どもたち。落とさないように羽を空中に連続で蹴り上げます

高齢者交通安全教室 in 伊万里自動車学校

高齢者の交通事故防止のために

高齢者を対象とした交通安全教室が伊万里自動車学校でありました。市交通対策協議会が秋の交通安全県民運動の取り組みとして実施したもので約30人が参加。運転や道路横断など、交通安全の基本的事項を確認したほか、水没車両からの緊急脱出方法や、ブレーキとアクセルの踏み間違い加速抑制装置の効果なども学びました。



↑正しい道路横断のしかたを確認する参加者